

本気で学び 新たな知を獲得する児童の育成

—児童の学習意欲を喚起する課題設定と関わり合い活動の工夫を通して—

東広島市立八本松小学校

全児童数	670名 (男子345名 女子325名)
全クラス数	19クラス(特別支援級7クラス)
TEL	(082) 428-3564

1 課題と目的

課題は、3つある。まず、運動に対して苦手意識をもった児童がいる。次に、関わり合いが充実していない実態がある。最後に、自己の運動に対する気付きが十分でない児童がいる。これらの課題から、学習意欲を喚起する課題設定を工夫すること、関わり合い(話し合い)の充実を図ること、振り返りを充実することを目的とした授業改善を図った。

2 主な取組の内容

【課題設定の工夫】

(1) 学習意欲を高める工夫

【関わり合いの工夫】

(2) モデリング学習の積極的実施

(3) 対話の活性化

(4) ICTを活用した、効果的な全体交流の実施

【振り返りの充実】

(5) ワークシートの工夫

(6) 振り返りの視点の明確化

3 取組で工夫したところ**(1) 学習意欲を高める工夫**

- ・事前に意識調査のアンケートをとり、児童の実態を把握する。
- ・単元のゴールを提示する(例 ゲーム領域⇒大会の実施、体づくり運動⇒目指す姿 等)。
- ・簡易化されたルール・用具の工夫・学習形態の工夫を施し、取り組みやすい運動に変える。
- ・動きのモデルとなる映像を視聴したり、壁面掲示を見たりすることで、単元及び本時の課題(技能面)や児童のイメージを明確化する。

(2) モデリング学習の積極的実施

- ・学級の児童実態に応じてペアを仕組んで、互いに見合う場や、よい動き(モデル)を示して真似をする場を設ける。
- ・児童同士で、よい動きを紹介し合う場を設ける。

(3) 対話の活性化

- ・思考を視覚化する(ホワイトボードの活用等)。
- ・兄弟チームで焦点化して見合い、アドバイスをし合う場を設定する。
- ・グループの構成を工夫する(差異あり、同質、個人種目のチーム化等)。

(4) ICTを活用した、効果的な全体交流の実施

- ・ICTを活用して、効果的な全体交流を行う(保健)。

(5) ワークシートの工夫

- ・OPPシートを活用する。
(単元前半や前時からの成長を実感できるよさ)

(6) 振り返りの視点の明確化

- ・運動に対する、自己の経験や感じ方をワークシートに書かせる。
- ・情意面の振り返りと、めあてに対する振り返りを明確にする。
- ・知識・技能の振り返り⇒手本を見せて、上手な動きを共有化させる。
- ・思考の振り返り⇒思考過程を残す工夫を行う(作戦ボード等)。
- ・主体性の振り返り⇒運動に対する自己の意識の変化を記述させる。

4 成果と今後の課題

(成果・児童アンケート)

- ・「考えることは楽しい」と94%の児童が学びに対して、肯定的に感じていることが分かった。
- ・「話し合うことで、よく分かった・よく考えた」と93%の児童が肯定的な評価をした。

(成果・教師の見取り)

- ・本時及び単元のねらいを十分に達成したといえる内容になっていたら、質の向上が見られると判断して評価した結果、90%の児童に質の向上が見られた。

(課題)

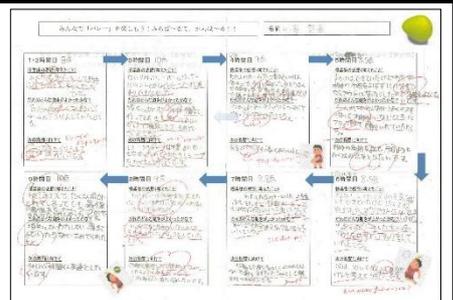
- ・単元および45分間の授業のマネジメントがより充実するよう、引き続き授業改善を図っていきたい。

**学習意欲を高める工夫**

大きいボールやバット等、より操作しやすい教具を用いて、取り組みやすい運動に変える。

**対話の活性化**

ホワイトボードを用いて、チームの作戦を視覚化する。

**ワークシートの工夫**

OPPシートを活用することで、単元前半や前時からの成長を実感させる。